

嬉野市副読本「生きる力」の教科書について

嬉野市教育委員会

グローバル化や情報化の進展などにより予想を超えたスピードで変化し、多様性が一層進む社会を生き抜くためには、「知・徳・体」のバランスの取れた教育を前提として、新時代にふさわしい教育を積極的に推進していく必要があります。本市教育委員会では「不易と流行」を基本理念とし、様々な教育施策を考案・創出して「人生100年時代に備える」取組を実践化しております。嬉野市副読本「生きる力」の教科書による指導実践もその一つです。

市内の中学生のアンケートの結果、「SNS等をめぐる問題」「虐待・DV等に対する不安」「振り込め詐欺等への心配」「交通事故の問題」などが、生徒たちの不安材料として挙げられました。義務教育を終えたときに、これから生きていくうえでの障壁となるさまざまな問題に対して、ある程度の知識と対処の方法を知っておくことは、大変重要であると考え、嬉野市副読本「生きる力」の教科書を平成24年に作成したところでした。その後、平成27年に1回目の改訂を行い、LINE（ライン）のテーマを新たに加え作成を行いました。令和2年の2回目の改訂ではLINEだけに絞らずにSNSとして大きく捉え、現在問題になっている内容を取り上げながら、スマートフォンやタブレットを持ったときに必要な知識やテーマ等を紹介しています。さらに、統計資料を更新したり、相談機関や参考資料のあるサイトを最新のものに変更したりして、時代に合った内容になるように改訂を行いました。

具体的には3つのカテゴリー「A：自分自身の心構え」「B：主として他者（社会）との関係」「C：主として自分を守ること」に分けて編集しました。事案を紹介しながら問題点をとり上げ、予防策や対処方法について具体的に学習できるよう配慮しました。テーマによっては複数回取り上げ、保健体育等との関連も考慮に入れた編集しました。

嬉野・塩田の図書館にも置いておりますので、ご覧になってください。

